

公開実用 昭和 59— 107675

① 日本国特許庁 (JP)

② 実用新案出願公開

③ 公開実用新案公報 (U)

昭59—107675

④ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑤ 公開 昭和59年(1984) 7 月20日

E 03 D 11 00

6572—2D

E 04 B 1 343

6434—2E

E 04 H 1 02

7121—2E

審査請求 有

(全 頁)

⑥ 円形構築物

酒田市上本町 6 番 4 号

⑦ 出 願 人 前田製管株式会社

⑧ 実 願 昭58--2551

酒田市上本町 6 番 7 号

⑨ 出 願 昭58(1983) 1 月12日

⑩ 代 理 人 弁理士 米屋武志

⑪ 考 案 者 前田巖

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 考案の名称

円形構築物

2. 実用新案登録請求の範囲

予め出入口、窓用開口等を穿設したヒューム管を基礎上に立設し、該ヒューム管の上端にプレキャストコンクリート製の屋根板を接合して構築するよう構成したことを特徴とする円形構築物。

3. 考案の詳細な説明

本考案は円形トイレ等を使用して最適な円形構築物に関し、ヒューム管、プレキャストコンクリート部材を利用して工期の大幅な短縮を図つたものであり、その要旨は予め出入口、窓用開口等を穿設したヒューム管を基礎上に立設し、該ヒューム管の上端にプレキャストコンクリート製の屋根板を接合して構築するよう構成したことを特徴とする円形構築物にある。

以下、図示の実施例に基づいて本考案を詳細に説明すると、図示の実施例は円形トイレとし



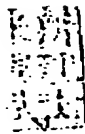
て使用した例を示し、図において 1 は基礎コンクリートで、割栗石 2 を敷き詰めた後、この上面に打設したものであり、リング状に形成し、この内側に割栗石 3 を敷き詰めることにより打設コンクリートの量の減少を図っている。

4 は、上記基礎コンクリート 1 上にその端面を当接させて垂直に載置したヒューム管で、予め工場等で出入口 4a、窓用開口 4b、4b・・・等を穿設したものであり、円形トイレ等円形構築物の周壁をなすものである。

このように、ヒューム管 4 を円形トイレ等円形構築物の周壁として利用することにより、工期の大幅な短縮を図るのである。

そして、上記基礎コンクリート 1 上にヒューム管 4 を載置した後、この内側にコンクリートを打設して内面底版 5 を形成すると共にこれを固定させる。

6 はプレキャストコンクリート製の屋根板で、上記ヒューム管 4 の上端に接合するものであり、略円板状で、その一部を突出させてひさし部 6a



が形成されている。

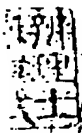
また、この屋根板の下面には上記ヒューム管 4 の上端と係合する凹条溝 6d が設けられていると共に、上面には周縁に沿つて排水溝 6c が形成され、この排水溝 6c にはここに溜つた水を流出させるための排水孔 6d が穿設されている。

そして、両者 4, 6 の接合は、ヒューム管 4 上に屋根板 6 をその凹条溝 6d をヒューム管 4 の上端に係合させつつ載置し、凹条溝 6d 内にモルタル 7 を充填させて行うのである。

なお、8 は仕切板、9 はドア、10 は大使用便器、11 は小使用便器である。

而してこの実施例の施工例は、先ず割栗石 2 を円環状に敷き詰めた後、この上に基礎コンクリート 1 を打設し、内側には割栗石 3 を敷き詰める。

次に、予め出入口 4a、窓用開口 4b、4b・・・を穿設したヒューム管 4 を上記基礎コンクリート 1 の上面に垂直に載置し、この内側にコンクリートを打設して内面底版 5 を形成すると共



にヒューム管 4 を固定する。

そして、このヒューム管 4 の上にこの上端と凹条溝 6b を係合させつつ屋根板 6 を載置し、凹条溝 6b 内にモルタル 7 を充填させて両者を接合させる。

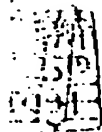
そして、仕切板 8、ドア 9、大使用便器 10、小使用便器 11 等を設置し、必要に応じて内装等を施して構築を完了するのである。

なお、上記出入口 4a には出入口ドアを、窓用開口 4b、4b・・・には窓を、夫々装着しうることは勿論である。

本考案は上記のように、予め出入口 4a、窓用開口 4b、4b・・・等を穿設したヒューム管 4 を基礎上に立設し、このヒューム管 4 の上端にプレキャストコンクリート製の屋根板 6 を接合して構築するよう構成したので、工期の大幅な短縮が可能で、しかも容易に構築することができるといつた効果がある。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の構築後の状態を示し、第 1 図は



・ 平面図、第 2 図は一部切断の正面図、第 3 図は第
・ 2 図の I - I 線断面図である。

1 . . . 基礎コンクリート、

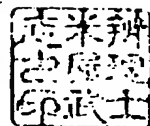
4 . . . ヒューム管、

4a . . . 同出入口、

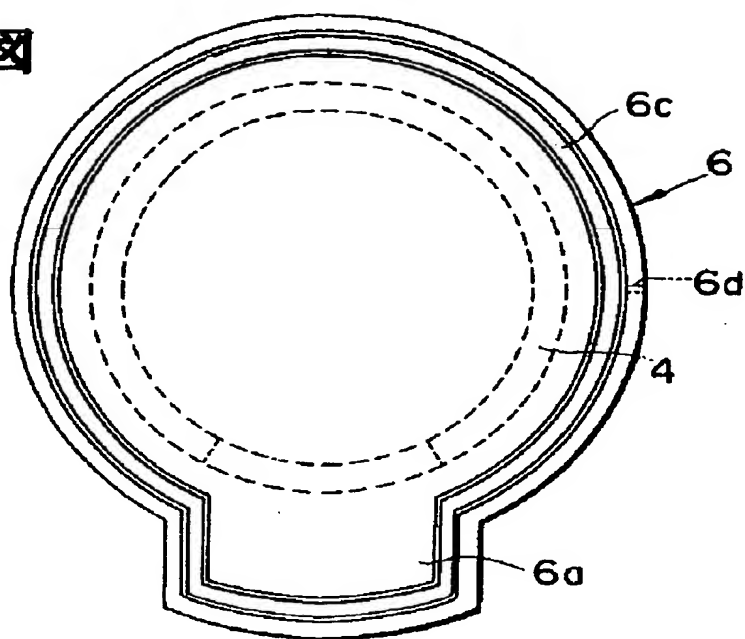
4b . . . 同窓用開口、

6 . . . 屋根板。

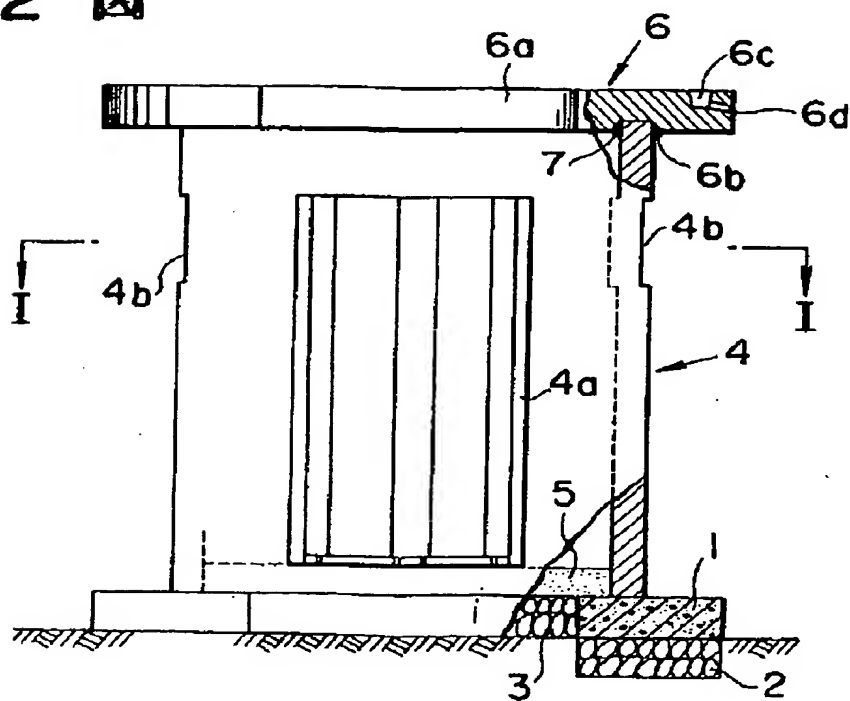
実用新案登録出願人 前田製管株式会社
代理人 井理士 米 屋 武 志



第 1 図



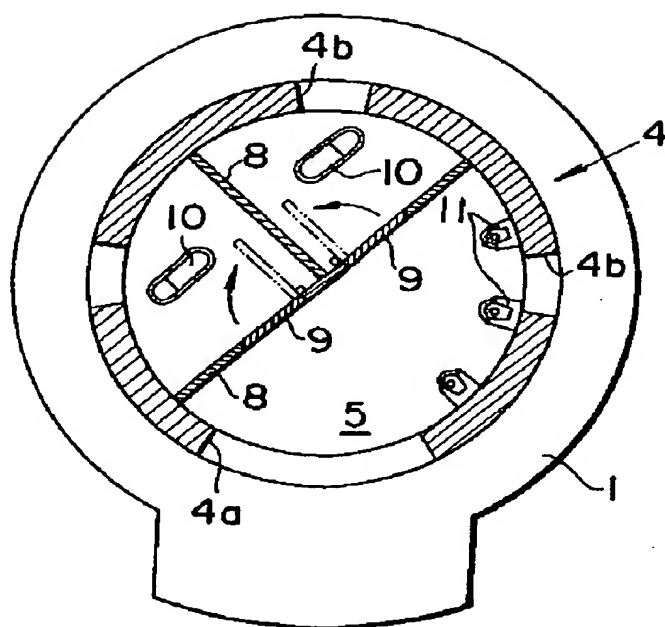
第 2 図



736

実用 107675

第 3 図



737
59-107675

737
59-107675

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.